



YEAR OF
THE RAT

新年のご挨拶

NEW YEAR'S GREETINGS

新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

厚生労働省は2018年度の概算医療費が前年度比0.8%増の42.6兆円となり、前回に続き過去最高を更新したと発表しました。更に団塊の世代が後期高齢者に入り始める2022年度から、医療費が急増することが予想され健保財政も厳しい時期を迎えようとしています。

当健康保険組合の平成30年度は、被保険者数が増加したことなどにより黒字となりましたが、保険給付費(医療費・各種現金給付等)は支出全体の48.8%、高齢者医療制度への拠出金は42.8%となり、合わせて91.6%を占めており厳しい財政状況が続いています。

この様な中、昨年11月末の加入状況は事業所数179社、被保険者数約10,213人、ご家族を含めると加入者が約15,641人となりました。

来たる2022年危機に備え、医療費の適正化とみなさまの健康づくりのために、加入事業所と連携・協力し、より実効性のある保健事業を推進してまいります。

みなさまにおかれましては、健康診断は必ず受

診し、生活習慣の改善に努め、また、治療の必要な方は早めに医療機関等を受診いただく事が、みなさまの健康を守り、ひいては健保財政の安定に繋がります。

また、共済会では、家庭常備薬や健康飲料の斡旋、海外旅行や契約保養所及びJTBの補助、劇団四季ミュージカル鑑賞、北海道日本ハムファイターズ等のスポーツ観戦、健康センター日帰り温泉の助成も大変ご好評をいただいております。こちらでも皆さまのご要望を取り入れながら事業を実施してまいりますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

本年も皆さま方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



北海道コンピュータ関連
産業健康保険組合

理事長 中村 真規